

豊田市立広川台小学校で防災講座を行いました

令和8年10月16日（金）、豊田市立広川台小学校で5年生55名に防災講座を行いました。学校の近くには矢作川や加茂川が流れています。この学校での講座は今年で3年目です。

講座では、豊田市でも被害のあった伊勢湾台風や昭和47年7月豪雨、東海豪雨などを学習しました。豊田市が公開している豊田スタジアムなどの浸水イメージや市役所の庁舎壁面に掲示された想定浸水深15.3mの看板を見た児童たちは、その深さに驚いた様子でした。

また、伊勢湾台風A1語り部との対話体験や水防災A1カードクイズも行いました。A1語り部には「被害はどのくらいでしたか」「避難生活はどれだけ続きましたか」「避難所にペットは連れて行って良いのですか」などと質問し、カードクイズではグループ内で理由を考えて話し合いながら全問正解を目指し、伊勢湾台風や避難についての理解を深めました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

